

(やさしい日本語) リ災証明書について

【リ災証明書】(りさい しょうめいしょ)について — 大雨(おおあめ)で 家(いえ)が 壊(こわ)れた 人(ひと)の ための 書類(しょるい)です。

大雨(おおあめ)で たいへんな 人(ひと)が、お金(かね)の ことなどを 申(もう)し込(こ)むとき、証明書(しょうめいしょ)が あります。大雨(おおあめ)で どのぐらい たいへんかを 書(か)いた 紙(かみ)が あります。

証明書(しょうめいしょ)は 自分(じぶん)で 書(か)きません。

市役所(しやくしょ)、町役場(まちやくば)、県庁(けんちょう)、学校(がっこう)、会社(かいしゃ)などの 係(かかり)の 人(ひと)が 書(か)きます。

【リ災証明書】(りさいしょうめいしょ)は大雨(おおあめ)で たいへんな 人(ひと)の ためのお金(かね)の ことなどを 申(もう)し込(こ)む とき あります。

家(いえ)が どのぐらい 壊(こわ)れたか 書(か)いて あります。

家(いえ)が 壊(こわ)れた 人(ひと)の ために、市役所(しやくしょ)や 町役場(まちやくば)などの 係(かかり)の 人(ひと)が 書(か)きます。

係(かかり)の 人(ひと)が 家(いえ)が どのぐらい 壊(こわ)れたか 調(しら)べて つくります。

家(いえ)が 壊(こわ)れた 人(ひと)が 申(もう)し込(こ)んでから 係(かかり)の 人(ひと)が 調(しら)べます。

できるまで 何日(なんにち)か かかります。

震災(しんさい)で たいへんな 人(ひと)が 下(した)の ことを 申(もう)し込(こ)む とき **【リ災証明書】(りさい しょうめいしょ)**が あります。

○被災者生活再建支援金(ひさいしゃ せいかつ さいけん しえんきん)

---家(いえ)が 壊(こわ)れたり 住(す)むことが できなくなったり した 人(ひと)の ためのお金(かね)

○義援金(ぎえんきん)

---被災(ひさい)した 人(ひと)の ために みんなで 集(あつ)めた お金(かね)

○国民健康保険料(こくみん けんこう ほけんりょう)の減免(げんめん)

---国民健康保険料(こくみん けんこう ほけんりょう)が 安(やす)く なったり 払(はら)わなくても よくなったり すること

○災害復興住宅融資(さいがい ふっこう じゅうたく ゆうし)

---大雨(おおあめ)で 家(いえ)が 壊(こわ)れた 人(ひと)の ために 貸(か)す お金(かね)

大雨(おおあめ)で 壊(こわ)れた 家(いえ)を 急(いそ)いで 直(なお)す 人(ひと)に 貸(か)すお金(かね)

○仮設住宅(かせつ じゅうたく)

---大雨(おおあめ)で たいへんな 人(ひと)が 自分(じぶん)の 家(いえ)を 買(か)ったり 借(か)りたり できるようになる まで 住(す)むことが できる 家(いえ)

○公営住宅(こうえい じゅうたく)

---市(し)、町(まち)、村(むら)、県(けん)などが 貸(か)す家(いえ)

○子(こ)どもが 学校(がっこう)で 使(つか)う 教科書(きょうかしょ)などを 無料(むりょう)で <お金(かね)を 払(はら)わないで> 受(う)け取(と)ること

【リ災証明書】(りさい しょうめいしょ)を 申(もう)し込(こ)む とき いるもの、どうやって 調(しら)べるか、いつ **【リ災証明書】(りさい しょうめいしょ)**を 受(う)け取(と)る ことが できるかは、市役所(しやくしょ)や 町役場(まちやくば)で 違(ちが)います。詳(くわ)しいことは 市役所(しやくしょ)や 町役場(まちやくば)の 係(かかり)の 人(ひと)に 相談(そうだん)して ください。